

DPCデータを活用した 医療マネジメント

産業医科大学 公衆衛生学教室

村松 圭司

本日の内容

- DPCデータの活用例
- DPCデータの概要
- DPCデータの加工方法

DPCデータの活用例

- 診療プロセスの可視化
 - 自院で最も多く診療が行われている悪性腫瘍は？
 - そのうち手術が行われている症例で、より医療資源を投入した者は？
 - その理由は？
- クリニカル／クリティカルパス（CP）作成支援・評価
 - 現在の診療プロセスはどうなっているか？
 - CPに沿った診療が行われているか？



DPCデータの概要

- 様式 1
 - 診療録情報（いわゆる「退院サマリ」）
- 様式 3
 - 施設調査票
- 様式 4
 - 医科保険診療以外のある症例調査票
- Dファイル
 - 診断群分類点数表により算定した患者に係る診療報酬請求情報
 - DPCコードはDファイルに含まれる
- Eファイル/Fファイル
 - 医科点数表による出来高情報

DPCデータとは何か

- 分析可能な全国統一形式の患者臨床情報 + 診療行為の電子データセット
- 患者臨床情報
 - 患者基本情報
 - 病名、術式、各種のスコア・ステージ分類
- 診療行為情報
 - 診療行為、医薬品、医療材料
 - 実施日、回数・数量
 - 診療科、病棟、保険種別

DPCデータから何ができるか

- 患者の臨床情報；全国共通の「簡易退院サマリ」
- 「いつ」「何を」「どれ程」行ったか
 - （誰がオーダ、どの診療科・病棟の）
- 診療行為を時系列で把握
 - レセプト情報から自動的、電子化
- 診療プロセスの可視化
 - 平均像とバラツキ

DPCデータを用いる際に留意すべき事項

- 検査結果等は含まれない
(様式1に含まれる内容は除く)
- 1日の中での行為の前後関係は不明
- 病名の数に制限がある

「DPC制度」 とは

- [DPC]という **患者分類手法**(casemix分類)
 - DPC = **D**iagnosis **P**rocedure **C**ombination
- 分類ごとの資源投入量の分析に基づいて設計される **包括支払のルール**
 - **PDPS** = **P**er **D**iem **P**ayment **S**ystem
 - (入院1日あたり額 × 日数 × 調整係数) + 出来高払い
- [DPC調査]で収集される、**標準化された診療データ**
 - 様式1 : 退院サマリ = 傷病名(副傷病)、入院日数、重傷度
 - E/Fファイル : 入院中の診療行為・資源投入量

これら3つの要素から構成される複合体
(DPC/PDPS)

各データの関係

Dファイル		様式 1		Eファイル		Fファイル
施設コード	↔	施設コード	↔	施設コード	↔	施設コード
データ識別番号	↔	データ識別番号	↔	データ識別番号	↔	データ識別番号
退院年月日		退院年月日		退院年月日		退院年月日
入院年月日	↔	入院年月日	↔	入院年月日	↔	入院年月日
データ区分番号		患者属性		データ区分番号	↔	データ区分番号
順序番号		入院情報		順序番号	↔	順序番号
行為点数		診断情報		行為点数		レセプト電算コード
分類番号		手術情報		行為薬剤料		行為明細点数
医療機関係数		診療情報		行為材料料		行為明細薬剤料
				行為回数		行為明細材料料
				実施年月日		

DPCデータの仕様について

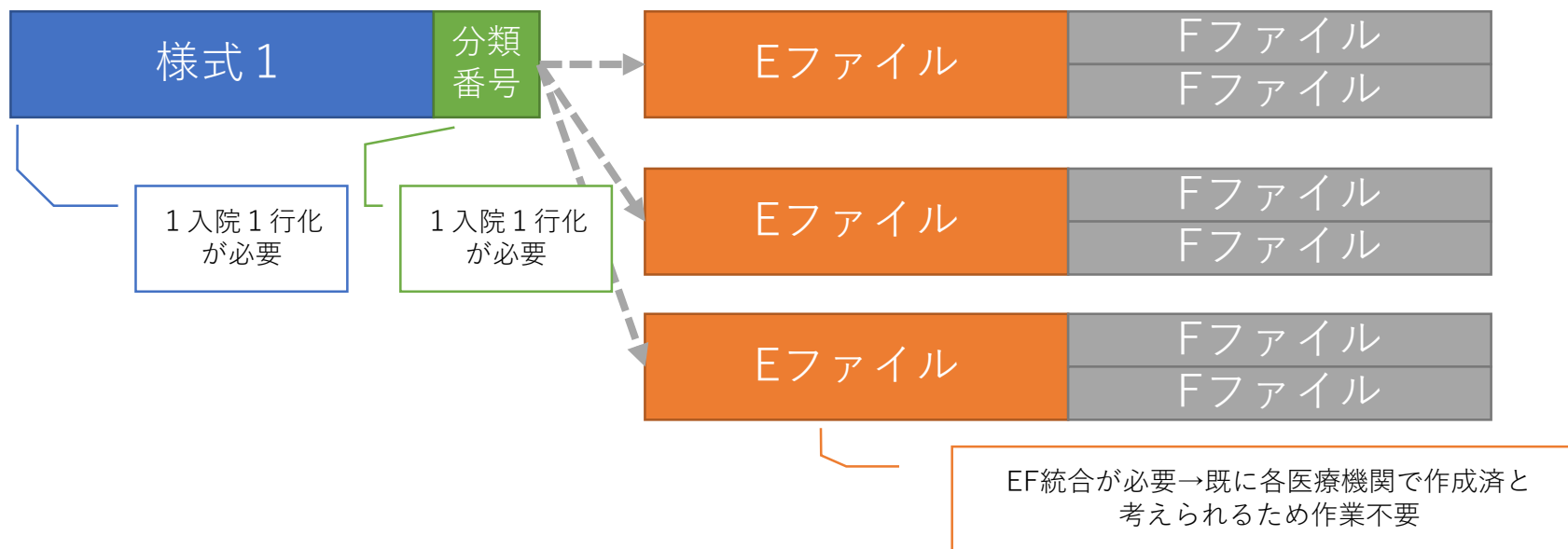
- 詳細な資料は、各年の「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料に記載されています
 - H30はこちら
 - <http://www.prrism.com/dpc/18dpc.html>

平成30年4月6日時点
平成29年7月28日版からの変更は赤字
平成30年3月6日版からの変更は青字
平成30年3月30日版からの変更は紫字

平成30年度
「DPC導入の影響評価に係る調査」
実施説明資料

理想のかたち

- 様式1 は一人1行
- Dファイルは診断群分類番号だけ取ってきたい
- EFファイルはくっついていると良い ← 統合ファイルでOK



平成26年度以降の様式 1 について

- データ記録方式の変更

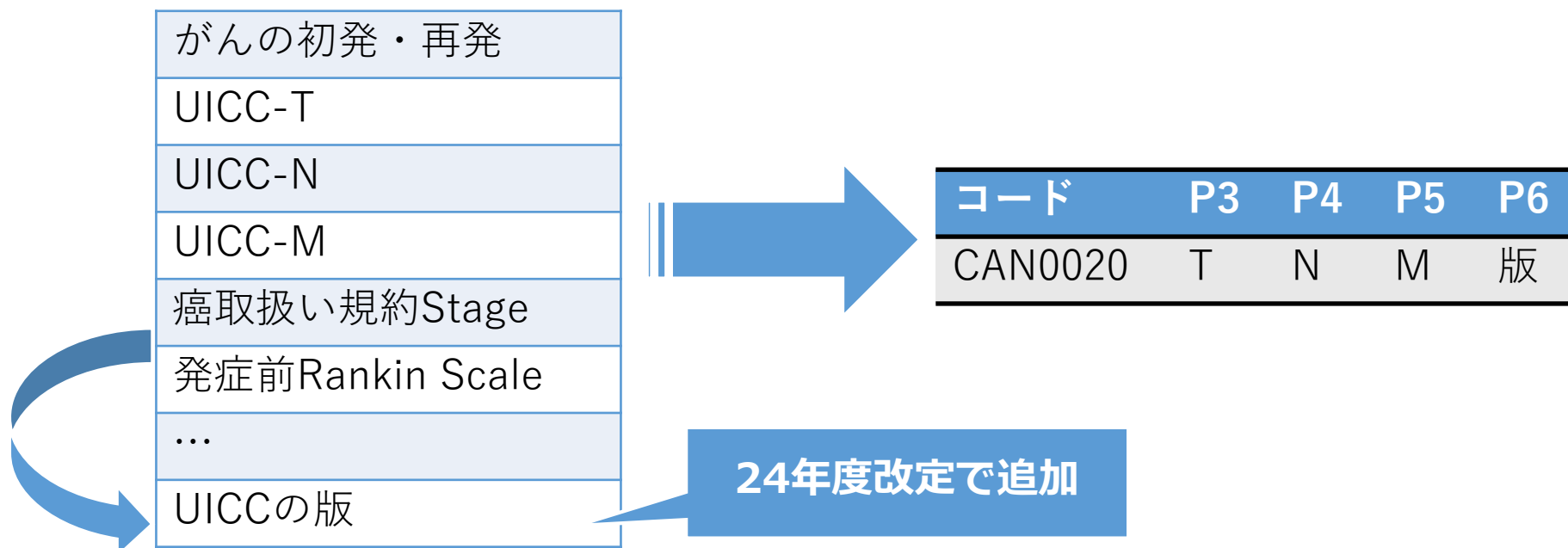
施設コード	データ識別番号	入院年月日	統括診療情報報告 回数管理番号	コード	バージョン	通番	ペイロード1	ペイロード2	ペイロード3	ペイロード4	ペイロード5	ペイロード6	ペイロード7	ペイロード8	ペイロード9	係
				患者属性												
409999999	0000000002	20140402	0 0	A000010	20140401	0	20110421	2	8030263							
				入院情報												
409999999	0000000002	20140402	0 0	A000020	20140401	0	20140402	1	1		1	310	0	0		

平成25年度までの様式 1

- 転棟がなければ一人 1 行
 - 複数入力項目（手術や副傷病など）以外は分析しやすい
- 調査項目の変更・追加が難しい
- 疾患によっては空きフィールドばかりに
- 横に長くて読みにくい
- 複数入力項目の分析がしにくい など

これまでの様式 1

- 転棟がなければ一人 1 行
 - 複数入力項目（手術や副傷病など） 以外は分析しやすい
- 調査項目の変更・追加が難しい



これまでの様式 1

- 転棟がなければ一人 1 行
 - 複数入力項目（手術や副傷病など） 以外は分析しやすい
- 複数入力項目の分析がしにくい

入院時併存病名 1

ICD10コード

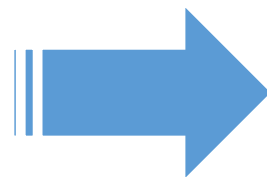
入院時併存病名 2

ICD10コード

入院時併存病名 3

ICD10コード

...



通番	コード	P2	P9
1	A006040	ICD10	入院時併存病名
2	A006040	ICD10	入院時併存病名
3	A006040	ICD10	入院時併存病名

新旧様式 1 (例)

• 409999999	010	0	0000000001	1	19600821	8000215	4	0
	20140401	20140421	0	1	0	0	101	0
	1	2	0	99999999	99999999	1	0	0
	20140401	20140421	肺炎, 病原体不詳	J189	肺炎, 病原体不詳	J189	肺炎, 病原体不詳	J189
DM> 合併症を伴わないもの	E119		本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)		I10		インスリン非依存性糖尿病<N I D	
		0			180	80.00	600	0
	0	2312132222	2312132222	1				0000005

409999999	0000000001	20140401	0	0	A000010	20140401	0	19600821	1	8000215							
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000020	20140401	0	20140401	1	0	0	101	0	0			
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000030	20140401	0	20140421	1	2	0	0					
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000031	20140401	0	20140401	20140421								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000040	20140401	0	010	0								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000050	20140401	0	1	0	0							
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000060	20140401	0	4	0								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000070	20140401	0	99999999	99999999								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A001010	20140401	0	180	80								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A001020	20140401	0	600									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A001030	20140401	0	0	0								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A002010	20140401	0	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A004010	20140401	0	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006010	20140401	0	J189									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006020	20140401	0	J189									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006030	20140401	0	J189									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006040	20140401	1	I10									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006040	20140401	2	E119									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A008010	20140401	0	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	ADL0010	20140401	0	2312132222									
409999999	0000000001	20140401	0	0	ADL0020	20140401	0	2312132222									
409999999	0000000001	20140401	0	0	JCS0010	20140401	0	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	JCS0020	20140401	0	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	M040010	20140401	0	1									
409999999	0000000001	20140401	0	0	M040020	20140401	0	0000005									

肺炎, 病原体不詳
肺炎, 病原体不詳
肺炎, 病原体不詳
本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)
インスリン非依存性糖尿病<N I D DM> 合併症を伴わないもの

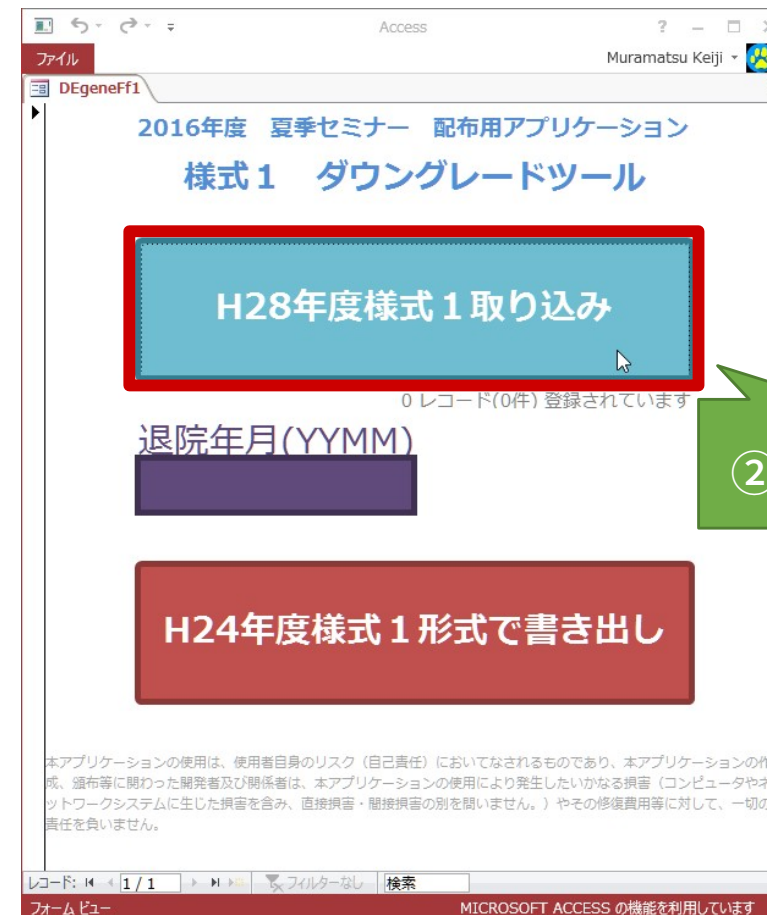
現場からの意見

- これまでの分析手法で引き続き分析したい！
- 新旧様式 1 の期間をまたいだ分析は？
- 「急場をしのぐ」ために
 - 縦持ち様式 1 を横持ち化して分析←今回はこちら
 - 横持ち様式 1 の縦持ち化
 - 縦持ちのまま分析←将来的にはこちら
- 分析手法に正解はありません
 - 自分で理解でき、相手に説明できる手法が最良

様式 1 「退化」 ツール

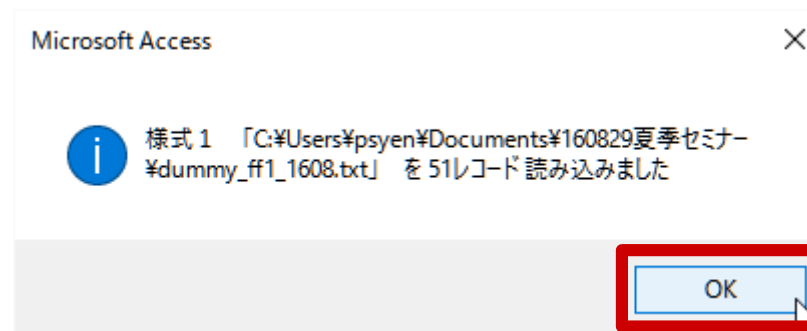
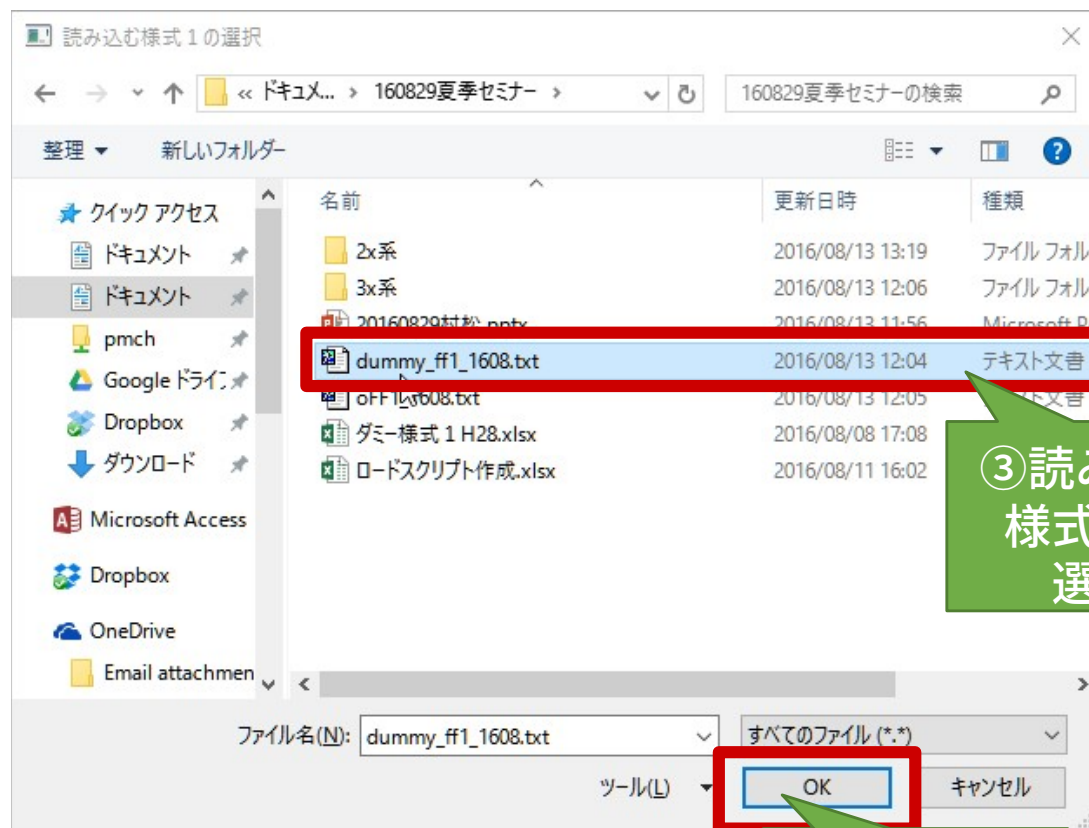
- 縦持ち様式 1（エラーチェック前）を横持ち化します
- <https://sites.google.com/site/pmchuoeh/files/dpcfiles>から入手可能
- Access2007以降もしくはAccess Runtime（無料）で使用可能
 - 2x系
 - FF1degene_v2_H28.accdr
 - H26/H28に追加された項目は削除
 - H24様式 1 と同様に取り扱い可能なフォーマット
 - 3x系
 - FF1degene_v3_H28.accdr
 - H26/H28に追加された項目はH24の項目の後ろに格納
 - 副傷病の傷病名コード・修飾語コードは削除

様式 1 「退化」 ツール 使用方法



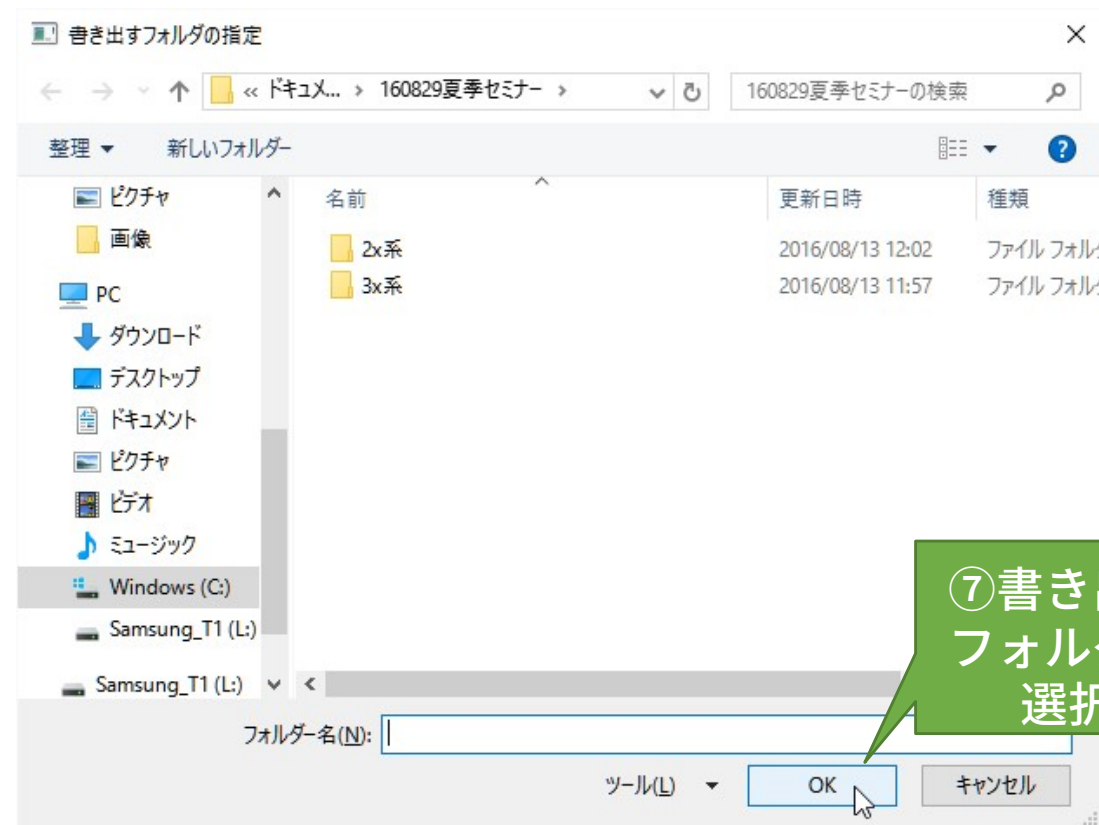
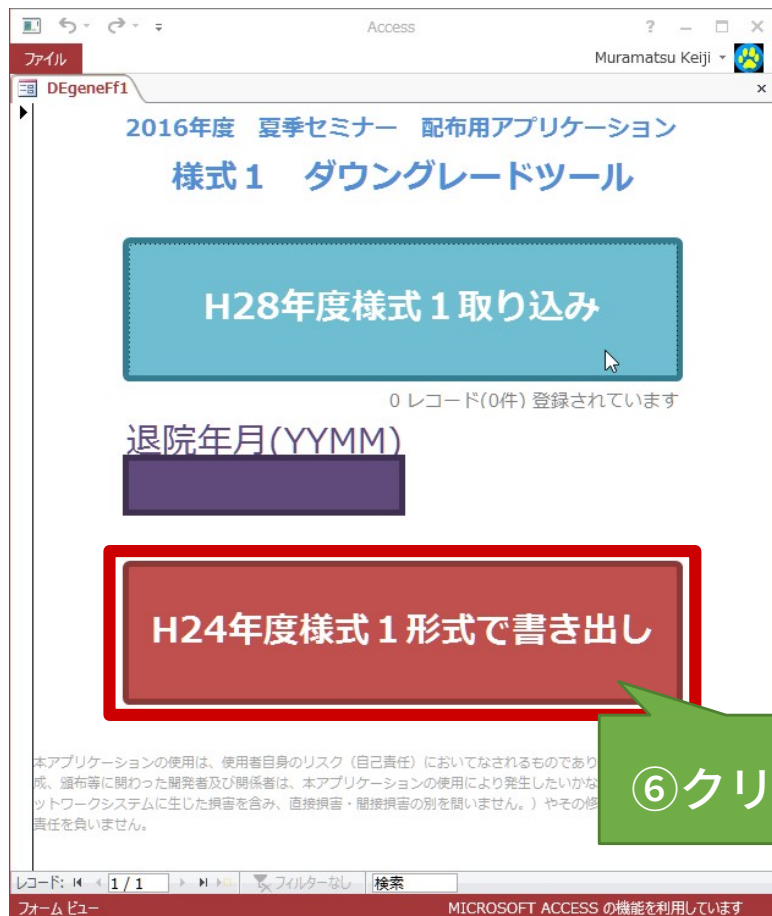
2x系を用いて使用方法を解説しています。3x系も使用方法は同じです。

様式1「退化」ツール 使用方法



2x系を用いて使用方法を解説しています。3x系も使用方法は同じです。

様式 1 「退化」 ツール 使用方法

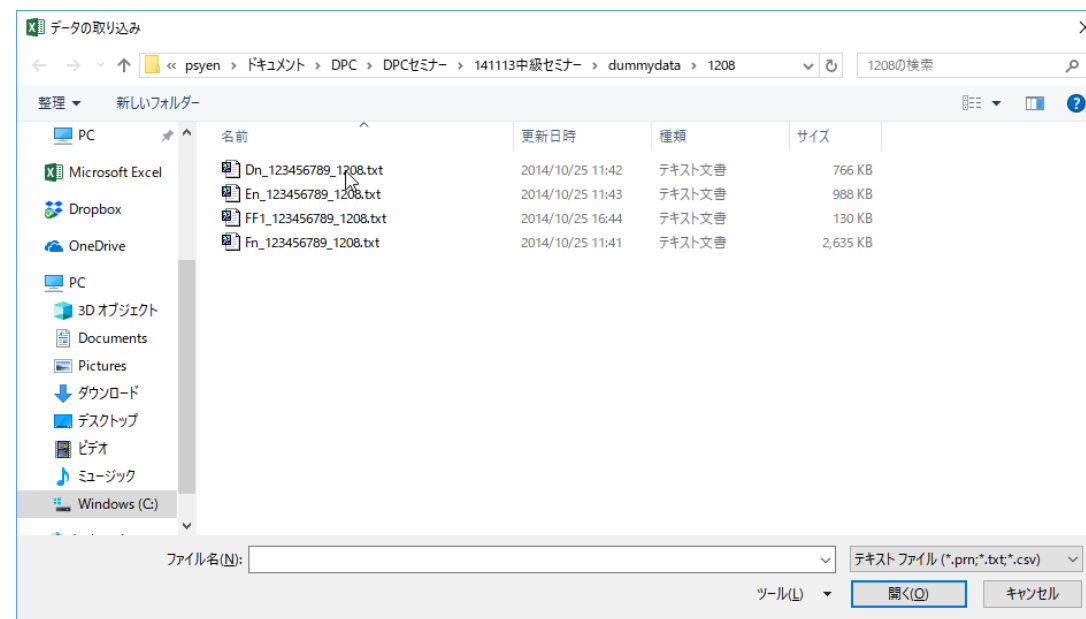
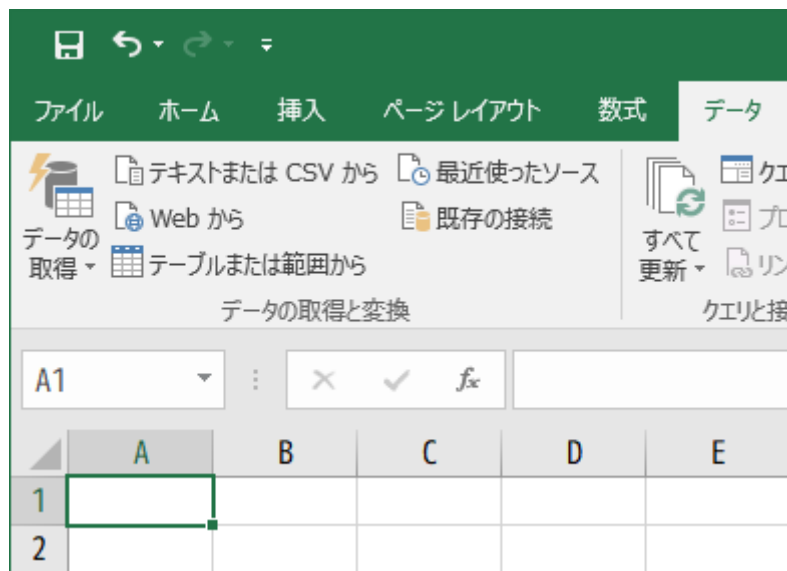


2x系を用いて使用方法を解説しています。3x系も使用方法は同じです。

Dファイルから診断群分類番号を持ってくる

- Excelで実施する方法
 - Dファイルのテキストデータを読み込む
 - 数字として認識されないように注意しましょう
 - フィルタ機能で絞り込む
 - 退院日が00000000でないレコード
 - 診断群分類番号が空ではないレコード
 - 「重複を省く」機能で一意にする
- Accessで実施する方法
 - Dファイルのテキストデータを読み込む（必要な列のみ）
 - データ型に注意しましょう
 - クエリで絞り込みと重複を省く作業を同時に行う

データの取得



Dファイルの読み込み

Dn_123456789_1208.txt

元のファイル

区切り記号

データ型検出

932: 日本語 (シフト JIS)

タブ

最初の 200 行に基づく

Column1	Column2	Column3	Column4	Column5	Column6	Column7	Column8	Column9	Column10
123456789	131	20120806	20120622	13	1	999999999	180016110		診療情報提供料
123456789	131	20120806	20120622	13	2	999999999	113010810		薬剤管理指導料
123456789	131	20120806	20120622	13	3	999999999	113701910		退院時薬剤情報
123456789	131	20120806	20120622	80	1	999999999	180024710		リハビリテーション
123456789	131	20120806	20120622	80	2	999999999	180027610		脳血管疾患等リハ
123456789	131	20120806	20120622	80	3	999999999	180027610		脳血管疾患等リハ
123456789	131	20120806	20120622	80	4	999999999	180027610		脳血管疾患等リハ
123456789	131	20120806	20120622	80	5	999999999	180027610		脳血管疾患等リハ

読み込み

編集

キャンセル

Dn_123456789_1208 (2) - クエリ エディター

ファイル

ホーム

変換

列の追加

表示

開いて読み込む

プレビューの更新

プロパティ

詳細エディター

管理

列の選択

列の削除

行の保持

行の削除

並べ替え

列の分割

グループ化

データ型: すべて

10 進数

通貨

整数

パーセンテージ

日付/時刻

日付

時刻

日付/時刻/タイムゾーン

期間

テキスト

True/False

バイナリ

	1.2.3 Column1	1.2 Column2	1.2 Column3	1.2 Column4	1.2.3 Co
1	123456789	131	20120806	20120622	
2	123456789	131	20120806	20120622	
3	123456789	131	20120806	20120622	
4	123456789	131	20120806	20120622	
5	123456789	131	20120806	20120622	
6	123456789	131	20120806	20120622	
7	123456789	131	20120806	20120622	
8	123456789	131	20120806	20120622	
9	123456789	131	20120806	20120622	
10	123456789	131	20120806	20120622	
11	123456789	131	20120806	20120622	80
12	123456789	131	20120806	20120622	80

Dファイルの読み込み (完了)

Column1 ▼	Column2 ▼	Column3 ▼	Column4 ▼	Column5 ▼	Column6 ▼	Column7 ▼	Column8 ▼
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0001	999999999	180016110
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0002	999999999	113010810
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0003	999999999	113701910
123456789	0000000149	20120808	20120626	13	0001	999999999	113010810
123456789	0000000149	20120808	20120626	13	0002	999999999	113010810
123456789	0000000149	20120808	20120626	13	0003	999999999	113701910
123456789	0000000149	20120808	20120626	13	0004	999999999	190056910
123456789	0000000160	20120810	20120628	13	0001	999999999	180016110
123456789	0000000160	20120810	20120628	13	0002	999999999	113010810
123456789	0000000160	20120810	20120628	13	0003	999999999	113701910
123456789	0000000177	20120802	20120705	13	0001	999999999	190056910
123456789	0000000177	20120802	20120705	13	0002	999999999	180016110
123456789	0000000177	20120802	20120705	13	0003	999999999	113010810

退院年月日、診断群分類番号の絞り込み

	A	B	C
1	Column1	Column2	Column3
2	昇順(S)		
3	降順(O)		
4	色で並べ替え(I)		
5	"Column3" からフィルターをクリア(C)		
6	色フィルター(I)		
7	数値フィルター(E)		
8	検索		
9	☒ (すべて選択)		
10	☒ 20120801		
11	☒ 20120802		
12	☒ 20120803		
13	☒ 20120804		
14	☒ 20120805		
15	☒ 20120806		
16	☒ 20120807		
17	OK キャンセル		
18			

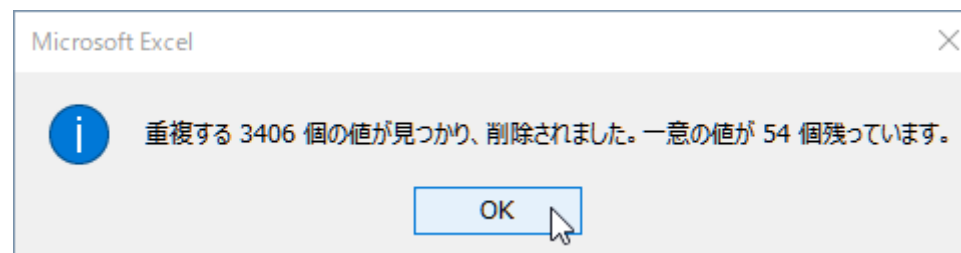
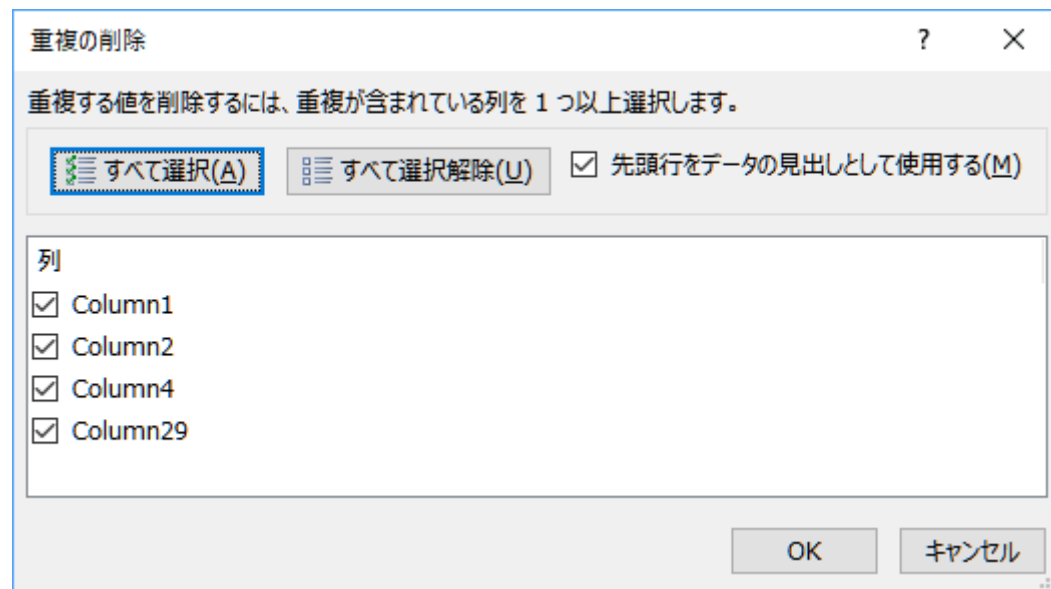
	AA	AB	AC
	Column27	Column28	Column29
20	昇順(S)		
20	降順(O)		
20	色で並べ替え(I)		
20	"Column29" からフィルターをクリア(C)		
20	色フィルター(I)		
20	テキスト フィルター(E)		
20	検索		
20	☒ (すべて選択)		
20	☒ 010030xx01x00x		
20	☒ 010030xx9900xx		
20	☒ 010060x099000x		
20	☒ 010060x099001x		
20	☒ 010060x099020x		
20	☒ 010060x099030x		
20	☒ 050050xx0200xx		
20	OK キャンセル		
20			

重複の削除

A	B	C	D
Column1	Column2	Column4	Column29
123456789	0000000131	20120622	010060x099001x
123456789	0000000131	20120622	010060x099001x
123456789	0000000131	20120622	010060x099001x
123456789	0000000149	20120626	160610xx01xxxx
123456789	0000000149	20120626	160610xx01xxxx
123456789	0000000149	20120626	160610xx01xxxx
123456789	0000000149	20120626	160610xx01xxxx
123456789	0000000160	20120628	160800xx01xxxx
123456789	0000000160	20120628	160800xx01xxxx



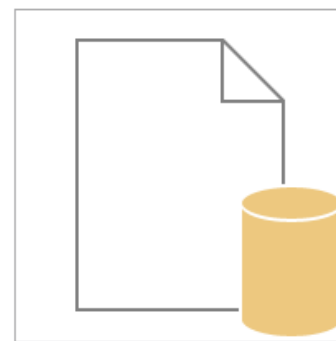
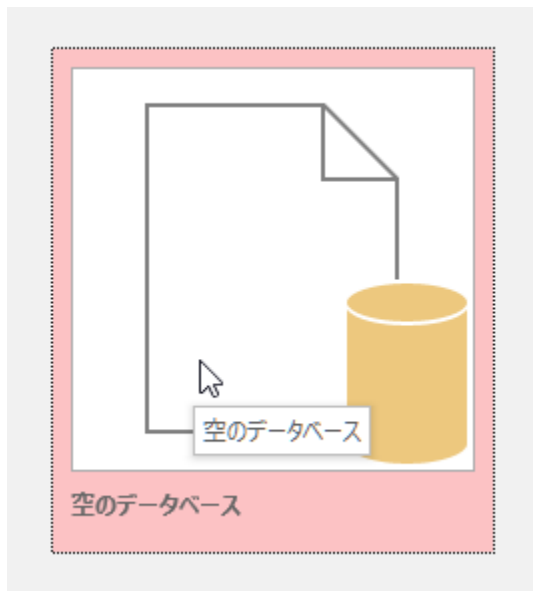
重複の削除



Dファイルから診断群分類番号を持ってくる

- Excelで実施する方法
 - Dファイルのテキストデータを読み込む
 - 数字として認識されないように注意しましょう
 - フィルタ機能で絞り込む
 - 退院日が99999999でないレコード
 - 診断群分類番号が空ではないレコード
 - 「重複を省く」機能で一意にする
- Accessで実施する方法
 - Dファイルのテキストデータを読み込む（必要な列のみ）
 - データ型に注意しましょう
 - クエリで絞り込みと重複を省く作業を同時に行う

Accessの起動



空のデータベース

Access アプリと Access デスクトップ データベースのどちらを作成したいのでしょうか?

ファイル名

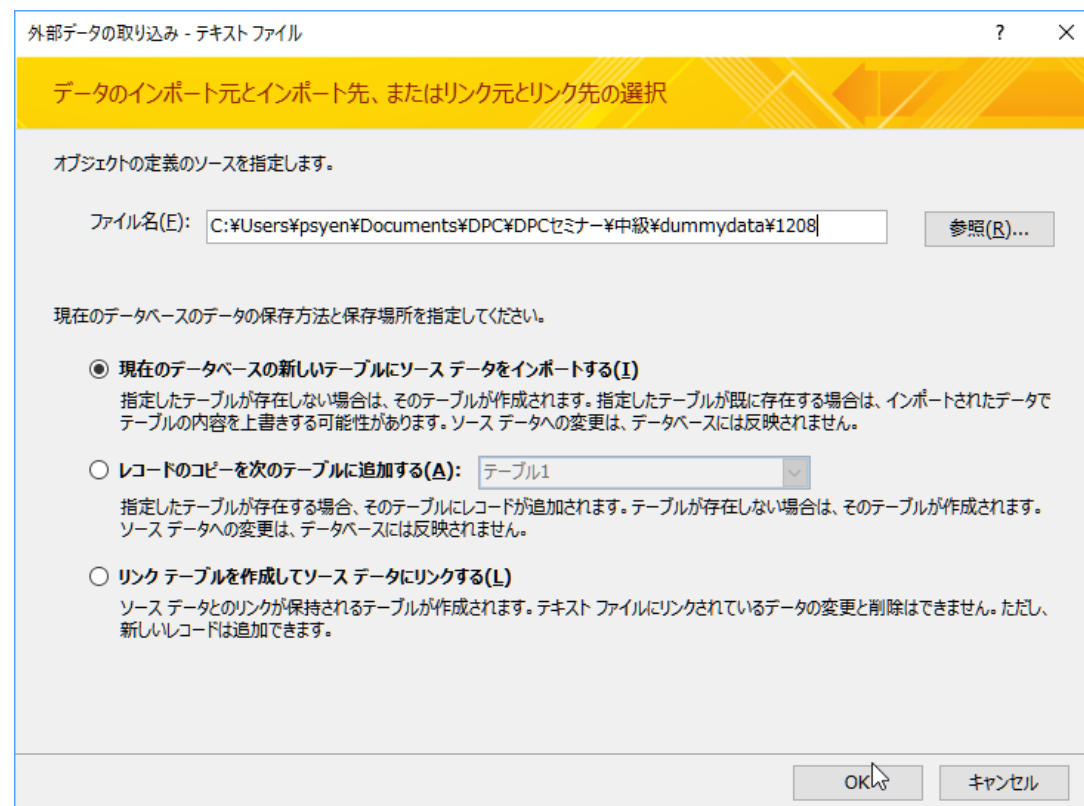
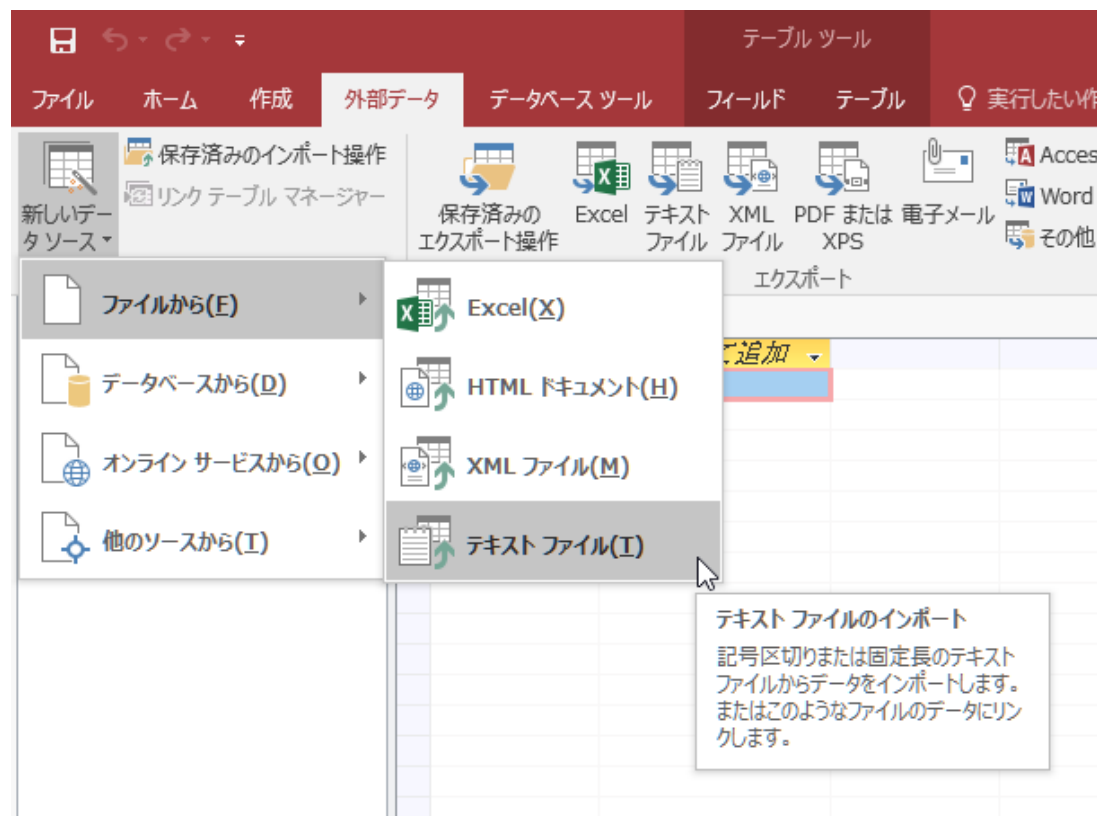
Database1.accdb



C:\Users\psyen\Desktop



Dファイルの取り込み



テキストインポートウィザード

フィールド区切り記号およびテキスト区切り記号を指定します。区切り記号を選択し、下のボックスでテキストの保存形態を確認してください。

フィールド区切り記号:

☒ タブ(T)
 ☐ セミicolon(S)
 ☐ カンマ(C)
 ☐ スペース(P)
 ☐ その他(Q):

☐ 先頭行をフィールド名として使う(B)
 テキスト区切り記号(Q): {なし} ▼

123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0001	9999999999	180016110	診療情報提供料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0002	9999999999	113010810	薬剤管理指導料2(安全管理を要する医薬品)
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0003	9999999999	113701910	退院時薬剤情報管理指導料
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0001	9999999999	180024710	リハビリテーション総合計画評価料
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0002	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0003	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0004	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0005	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0006	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0007	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0008	9999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0009	9999999999	620000289	ノボリン30R注フレックスペン 3000単位
123456789	0000000131	20120806	20120622	90	0001	9999999999	190136810	栄養サポートチーム加算
123456789	0000000131	20120806	20120622	90	0002	9999999999	190147810	退院調整加算(一般病棟入院基本料等)(3)
123456789	0000000131	20120806	20120622	93	0001	9999999999	930000000	入Ⅲ

テキストインポートウィザード

インポートのオプションをフィールドごとに指定できます。下の部分でフィールドを選択し、[フィールドのオプション] でオプションを指定してください。

フィールドのオプション

フィールド名(M): データ型(I):

インデックス(I): ☒ このフィールドをインポートしない(S)

フィールド	フィールド2	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド10
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0001	999999999	180018110
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0002	999999999	113010810
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0003	999999999	113701910
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0001	999999999	180024710
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0002	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0003	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0004	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0005	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0006	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0007	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0008	999999999	180027610
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0009	999999999	620000269
123456789	0000000131	20120806	20120622	90	0001	999999999	190136810
123456789	0000000131	20120806	20120622	90	0002	999999999	190147810
123456789	0000000131	20120806	20120622	93	0001	999999999	930000000

診療情報提供料 (1)
 薬剤管理指導料 2 (安全管理を要する医薬品
 退院時薬剤情報管理指導料
 リハビリテーション総合計画評価料
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
 ノボリン 30 R 注フレックスペン 300 単位
 栄養サポートチーム加算
 退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (3
 入 Ⅲ

テキスト インポート ウィザード



1	XXXX XXXX
2	XXXX XXXX
3	XXXX XXXX
2	XXXX XXXX
4	XXXX XXXX

新規テーブルには主キーを設定すると便利です。主キーがあるとテーブルの各レコードを一意に識別できるので、目的のデータを見つけやすくなります。

☐ 主キーを自動的に設定する(A)
☐ 次のフィールドに主キーを設定する(C)
☒ 主キーを設定しない(Q)

フィールド	フィールド2	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド10
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0001	999999999	180016110	診療情報提供料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0002	999999999	113010810	薬剤管理指導料 2 (安全管理を要する医薬品)
123456789	0000000131	20120806	20120622	13	0003	999999999	113701910	退院時薬剤情報管理指導料
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0001	999999999	180024710	リハビリテーション総合計画評価料
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0002	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0003	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0004	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0005	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0006	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0007	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0008	999999999	180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
123456789	0000000131	20120806	20120622	80	0009	999999999	620000269	ノボリン 30 R 注フレックスペン 300 単位
123456789	0000000131	20120806	20120622	90	0001	999999999	190136810	栄養サポートチーム加算
123456789	0000000131	20120806	20120622	90	0002	999999999	190147810	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (3)
123456789	0000000131	20120806	20120622	93	0001	999999999	930000000	入院

設定(V)...

キャンセル

< 戻る(B)

次へ(N) >

完了(E)



これで、データをインポートするための設定は終了しました。

インポート先のテーブル(I):

☐ インポートした後、テーブル正規化ウィザードを使ってテーブルを解析する(A)

設定(V)...

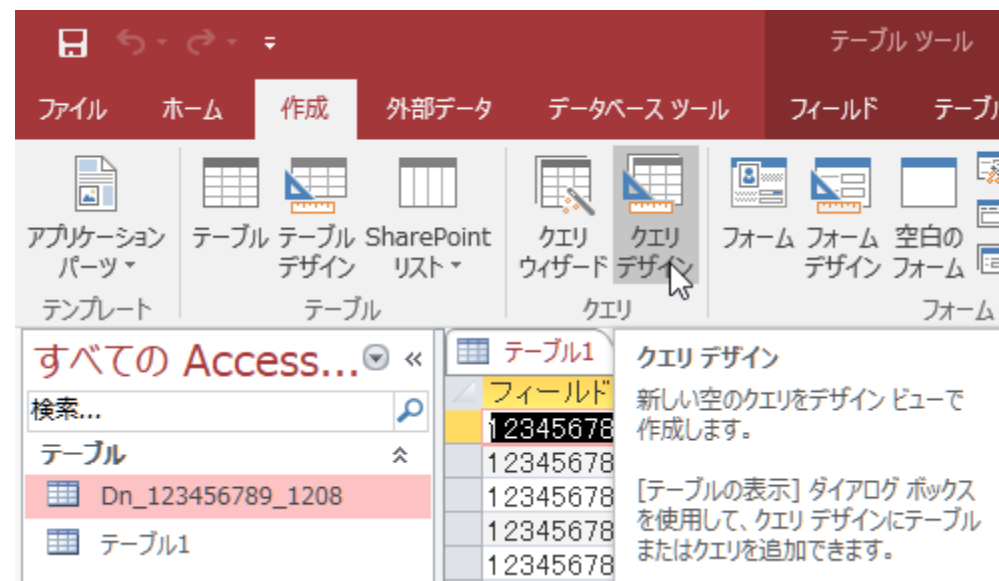
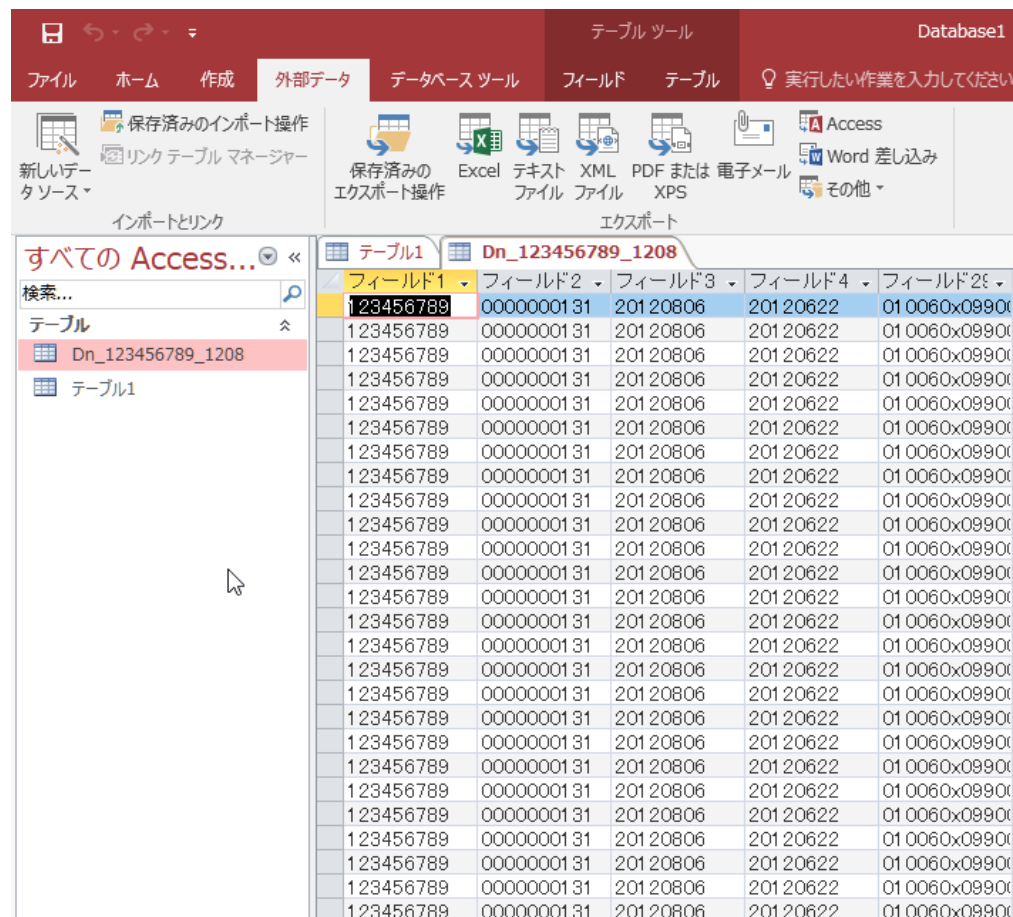
キャンセル

< 戻る(B)

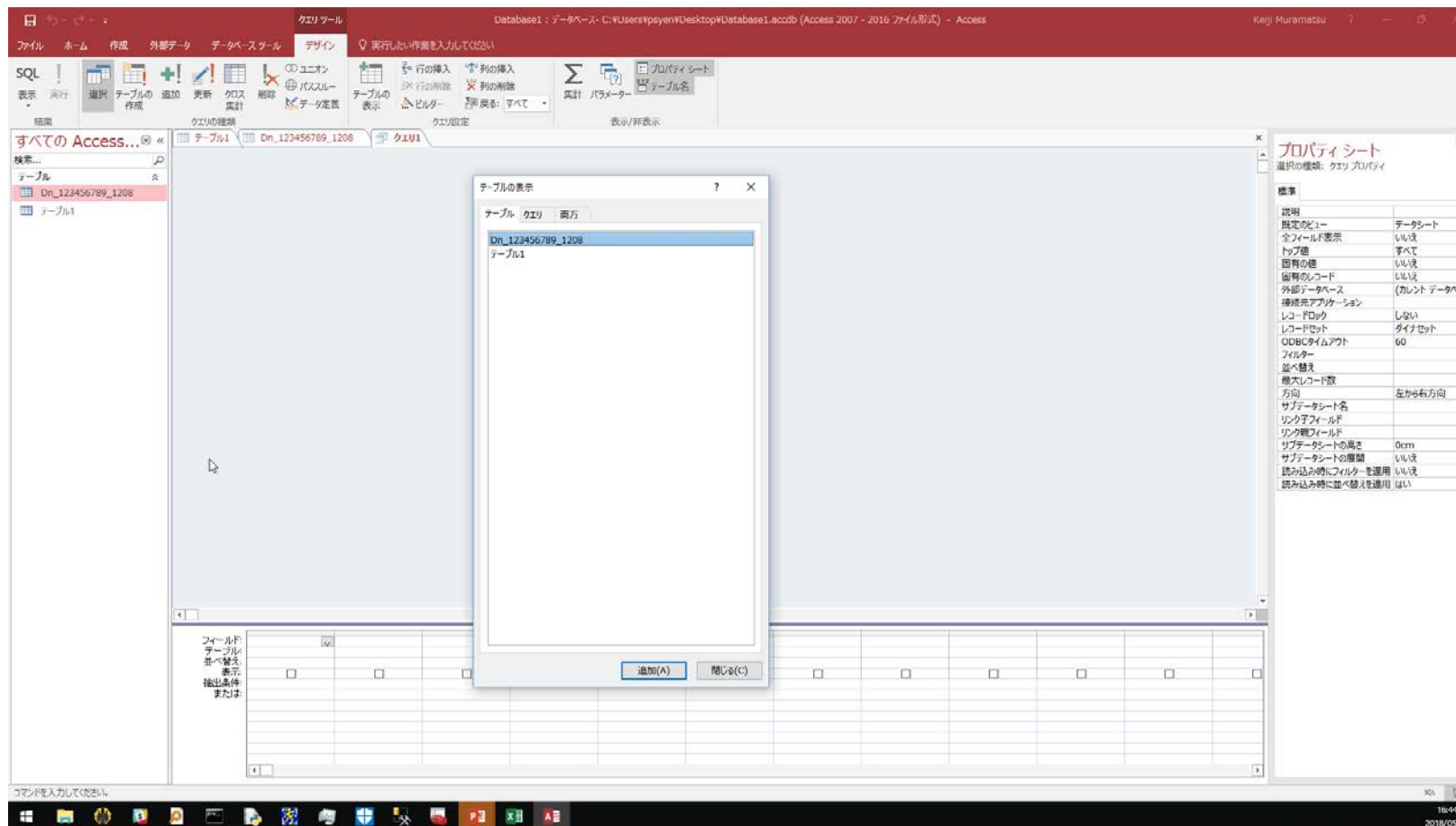
次へ(N) >

完了(E)

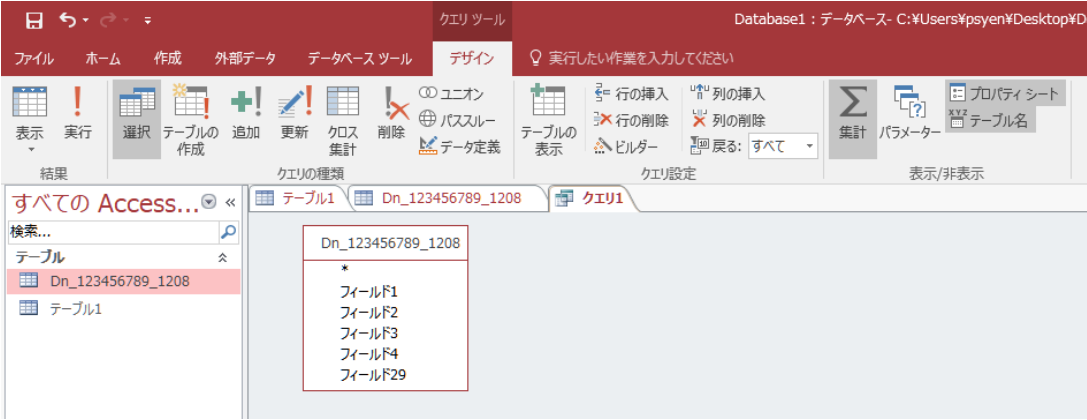
クエリの作成



クエリの作成



クエリの作成



フィールド:	フィールド1	フィールド2	フィールド3	フィールド4	フィールド29
テーブル:	Dn_123456789_1208	Dn_123456789_1208	Dn_123456789_1208	Dn_123456789_1208	Dn_123456789_1208
集計:	グループ化	グループ化	グループ化	グループ化	グループ化
並べ替え:					
表示:	☒	☒	☐	☒	☒
抽出条件:			<>"99999999"		
または:					

クエリの作成

Database1 : データベース1

ファイルホーム作成外部データデータベース ツール実行したい作業を入力してください

表示表示

貼り付け

切り取り

コピー

書式のコピー/貼り付け

フィルター

並べ替えとフィルター

昇順降順

並べ替えの解除

フィルターの実行

選択

詳細設定

新規作成

保存

削除

集計

スペルチェック

その他

すべての Access...

検索...

テーブル

Dn_123456789_1208

テーブル1

テーブル1

Dn_123456789_1208

クエリ1

フィールド1	フィールド2	フィールド4	フィールド28
123456789	0000000131	20120622	010060x09900
123456789	0000000149	20120626	160610xx01xx
123456789	0000000160	20120628	160800xx01xx
123456789	0000000177	20120705	010060x09900
123456789	0000000184	20120711	010060x09900
123456789	0000000187	20120712	010030xx01x0
123456789	0000000189	20120713	160800xx01xx
123456789	0000000191	20120713	160800xx01xx
123456789	0000000192	20120714	010030xx01x0
123456789	0000000194	20120715	160800xx01xx
123456789	0000000195	20120715	010030xx01x0
123456789	0000000196	20120715	010030xx01x0
123456789	0000000197	20120715	010060x09900
123456789	0000000200	20120716	010030xx01x0
123456789	0000000204	20120719	010030xx01x0
123456789	0000000206	20120720	010030xx01x0
123456789	0000000207	20120720	010030xx01x0
123456789	0000000208	20120721	010030xx01x0
123456789	0000000209	20120722	010060x09900
123456789	0000000210	20120722	010030xx01x0
123456789	0000000211	20120722	010060x09900
123456789	0000000213	20120723	010030xx01x0
123456789	0000000214	20120723	010030xx01x0
123456789	0000000215	20120723	010060x09900
123456789	0000000216	20120723	010060x09900

名前を付けて保存

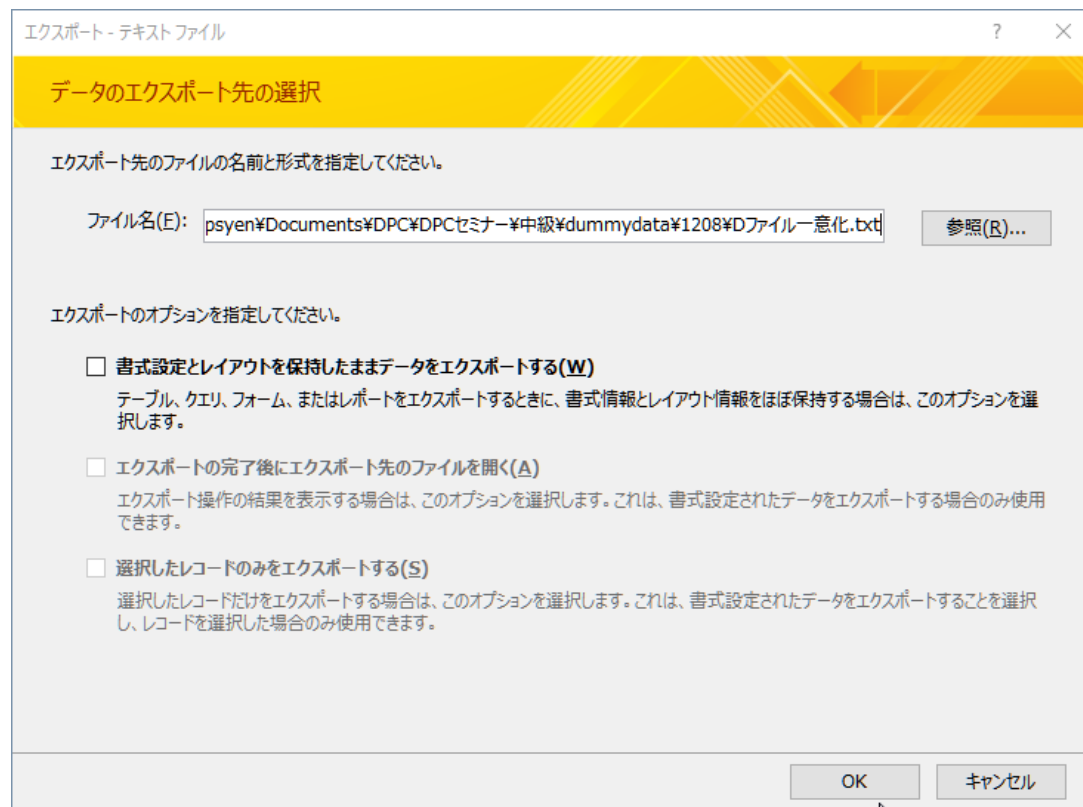
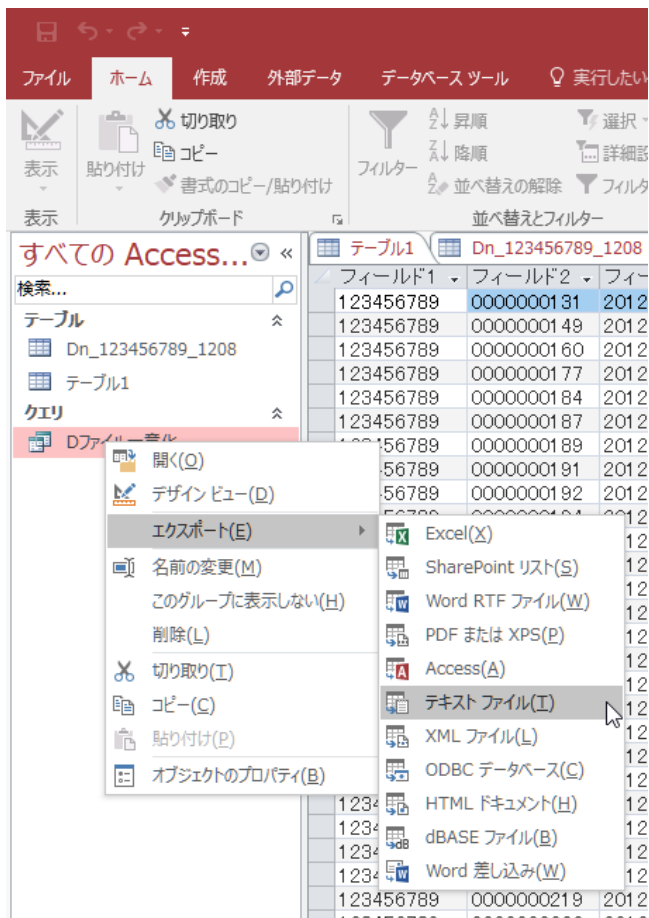
クエリ名:

Dファイルー意化

OK

キャンセル

エクスポート



エクスポート

テキストエクスポートウィザード

×

ウィザードでは、データのエクスポート方法を詳細に指定できます。エクスポートの形式を指定してください。

● 区切り記号付き - カンマやタブなどでフィールドが区切られている(D)

○ 固定長 - フィールドの長さが固定されている(W)

エクスポート フォーマットのサンプル

1

"123456789","0000000131","20120622","010060x099001x"

2

"123456789","0000000149","20120626","160610xx01xxxx"

3

"123456789","0000000160","20120628","160800xx01xxxx"

4

"123456789","0000000177","20120705","010060x099030x"

5

"123456789","0000000184","20120711","010060x099030x"

6

"123456789","0000000187","20120712","010030xx01x00x"

7

"123456789","0000000189","20120713","160800xx01xxxx"

8

"123456789","0000000191","20120713","160800xx01xxxx"

9

"123456789","0000000192","20120714","010030xx01x00x"

10

"123456789","0000000194","20120715","160800xx01xxxx"

11

"123456789","0000000195","20120715","010030xx01x00x"

12

"123456789","0000000196","20120715","010030xx01x00x"

13

"123456789","0000000197","20120715","010060x099030x"

14

"123456789","0000000200","20120716","010030xx01x00x"

15

"123456789","0000000204","20120719","010030xx01x00x"

設定(V)...

キャンセル

< 戻る(B)

次へ(N) >

完了(E)

テキストエクスポートウィザード

×

フィールド区切り記号およびテキスト区切り記号を指定します。区切り記号を選択し、下のボックスでテキストの保存形態を確認してください。

フィールド区切り記号:

● タブ(I)

○ セミicolon(S)

○ カンマ(C)

○ スペース(P)

○ その他(Q):

先頭行をフィールド名として使う(I)

テキスト区切り記号(Q):

[なし]

▼

1234567890000000013120120622010060x099001x

1234567890000000014920120626160610xx01xxxx

1234567890000000016020120628160800xx01xxxx

1234567890000000017720120705010060x099030x

1234567890000000018420120711010060x099030x

1234567890000000018720120712010030xx01x00x

1234567890000000018920120713160800xx01xxxx

1234567890000000019120120713160800xx01xxxx

1234567890000000019220120714010030xx01x00x

1234567890000000019420120715160800xx01xxxx

1234567890000000019520120715010030xx01x00x

1234567890000000019620120715010030xx01x00x

1234567890000000019720120715010060x099030x

1234567890000000020020120716010030xx01x00x

1234567890000000020420120719010030xx01x00x

設定(V)...

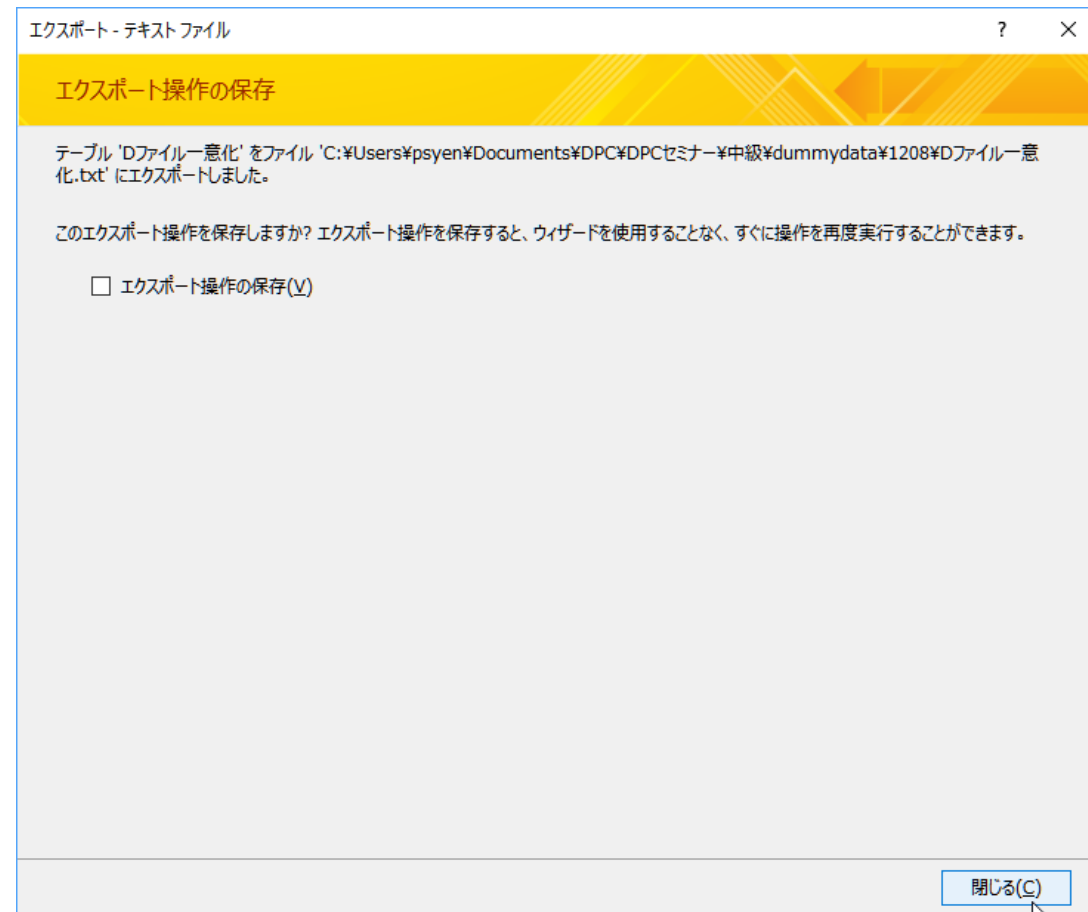
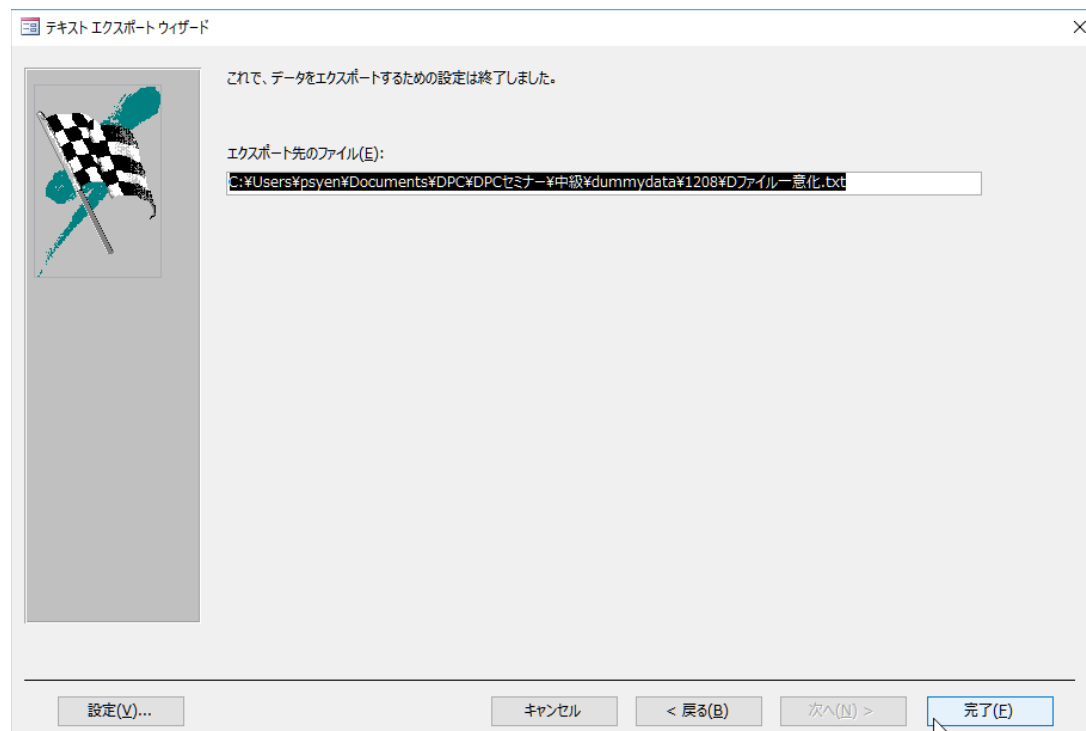
キャンセル

< 戻る(B)

次へ(N) >

完了(E)

エクスポート



材料が揃ったら

- データを連結する
- 可視化する
- ビジネス・インテリジェンス（BI）ツールを用いて省力化する
 - 変数名（列名）が同じものを自動で結合する、絞り込みを連動させる、
 - 表やグラフを簡便に作成する等の機能がある

BIツール	利用料	簡単さ	無料版でのファイル共有	OS
Microsoft Power BI	無料	△	×	Windows
Qlikview	無料	○	×	Windows
Qlik Sense	無料	○	◎	Windows 64bit
Tableau	試用版あり	○	×	Windows/Mac

まとめ

- DPCデータは、データに基づくマネジメントに有用である
 - 全国統一形式
 - あまり加工せずに分析できる
- DPCデータを自分で加工できるツールがある
 - 既に持っているもの→Excel（及びAccess）
 - 無料で手に入るもの→様式1 退化ツール、BIツール
- DPCデータを加工する方法は確立されている
 - 1 入院 1 行の様式 1（とDPCコード） + EFファイル
- DPCデータを分析・加工する際に有用な参考情報が入手可能である
 - 「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料
 - 診療報酬情報提供サービス